

デザインの中で中小企業の課題を解決。 デザイン産学連携プログラムを開始します。



※写真は令和2年度の実施の様子と作品例

デザイン産学連携プログラム（通称「デザイン産学」）は、自社の技術・製品・商品等の新たな展開を考えている中小企業が商品企画テーマを提示し、それに対して、教育機関の学生が自らの感性や発想等を活かして商品企画の提案に取り組むものです。

今年度の取組では、それぞれの学校の個性を活かし「企業のプロモーションやマーケティングプランのデザイン」「様々な形状アイデアを提案するプロダクトデザイン」「絵コンテの制作から撮影・編集といったプロの現場そのままの映像制作」等、幅広い分野で取組を行います。

（詳細は裏面へ）

今後のデザイン産学のスケジュール

学生が企業の課題解決に取り組む過程をぜひご取材ください。

令和3年度予定

- 5月～6月 工場見学、企業からの課題説明等
- 5月～7月 取組期間1 → 課題の企画案発表**
- 9月～10月 取組期間2 → プレゼンテーション**
- 11月 最終プレゼンテーション～表彰
- 12月 デザイン産学最終成果発表会**
- 令和4年2月 テクニカルショウヨコハマにパネル展示予定

※課題、学校により実施時期が異なります。
※上記「色文字」部分は是非ご取材ください。
※新型コロナウイルス感染症の影響により、予定が変更になる場合があります。

■■ 報道関係者の皆様へ ■■

参加企業と学校及び取組内容は裏面をご覧ください。

取材に関するお問い合わせは、工業技術支援センターまでご連絡ください。

取材に必要な内容、取材先企業及び学校の紹介等情報を提供させていただきます。よろしくお願いたします。

お問合せ先

経済局工業技術支援センター長 原 巧 Tel 045-788-9010

※本件は、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。

裏面あり

令和3年度デザイン産学連携プログラム一覧

Project1 >>> 相模女子大学 × ピーエムユー株式会社（都筑区）

◆テーマ：精密成形技術を活かしたノベルティグッズのデザイン

概要：精密樹脂成形技術を得意とするピーエムユー株式会社の薄くて精密な加工技術を活かした営業に使えるノベルティグッズを学生が考えます。

Project2 >>> 神奈川県立産業技術短期大学校 × シナノ紙工株式会社（保土ヶ谷区）

◆テーマ：梱包用のパッケージ材料を使った高付加価値商品の提案

概要：梱包で使われる箱の印刷や加工の技術を活かして、デザインやアイデアで付加価値を高めることで、箱としての役割だけではなく、捨てられない役割をもった商品のデザインをします。

Project3 >>> 横浜デジタルアーツ専門学校 × 株式会社オクタノルムジャパン（都筑区）

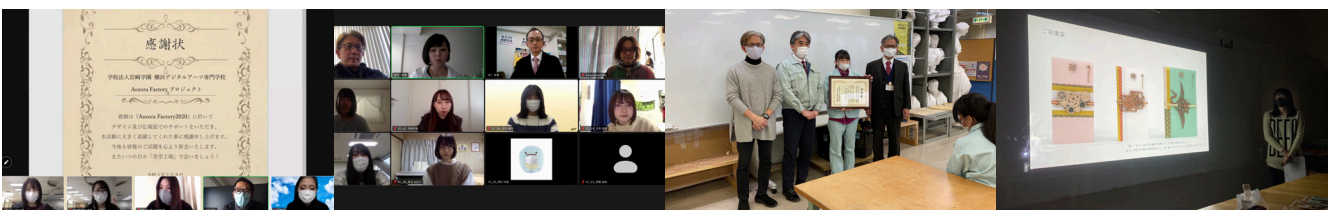
◆テーマ：コロナ禍で飛沫予防ができるオクタノルム製品（展示会用システム部材）

概要：展示会などで活躍するオクタノルム製品の技術を活かし、コロナ禍で飛沫予防ができるオクタノルム製品を使ったアイデアとそのプロモーションを考えます。

Project4 >>> 横浜デジタルアーツ専門学校 × Aozora Factory

◆テーマ：地域活性化につなげる AozoraFactory のイベント

概要：子供達向けのワークショップを行う Aozora Factory の周辺住民、学校、駅などで配布・掲示されるプロモーションツール及び当日の利用促進ツールの企画・デザインに取り組みます。



昨年度に続き、マスクの着用や手洗い、消毒等の基本的な感染予防対策を徹底し、適宜オンラインによる活動も取り入れながら、取り組んでいきます。（写真は昨年度の取組の様子）

▶ 横浜市工業技術支援センターデザイン部門のこれまでの取組について、事例集を発行いたしました。デザイン産学の事例も紹介しています。

※事例集については当センターデザイン担当までお問合せください。→（問合せ先：045-788-9008）